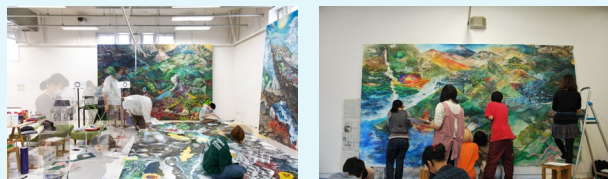


事業者情報



代表者 三瀬 夏之介

所在地 山形県山形市

WEBサイト

<https://x.com/touhokuga>



事業の基本情報

事業名 東北画は可能か？月歴画

実施地域 葛尾村

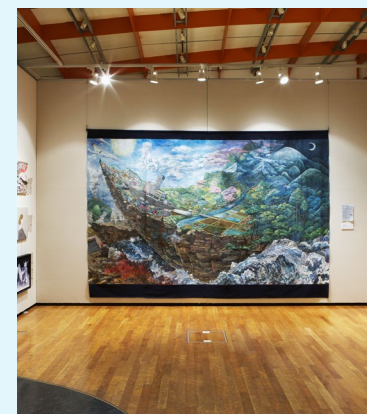
連携団体
(予定) なし

Point

時を重ねる記憶を絵筆に込め、浜通りの風土と共に描く
「月歴画」の記録

事業概要

本事業は、2009年に東北芸術工科大学で東北における美術のあり方を考える活動として、日本画コース教員・三瀬夏之介と洋画コース教員・鴻崎正武と、後に加わった洋画コース教員・狩野宏明を中心にスタートした「東北画は可能か？」プロジェクトの15年目の取り組みである。現在の学生メンバーは東日本大震災発災時まだ5歳であり、震災の特定の場面だけを記憶に持つ世代となっている。時を重ねるごとに東日本大震災は経験のない昔話となるが、現在取り組んでいる共同制作「月歴画」には様々な地域の人々の営みや風土が描かれる。これからも直面するであろう災害に対する大事な記憶を刻み込む共同制作を、浜通りの方々の記憶や風土と共に作り上げることを目指す。震災の記憶を持つ世代から記憶を持たない世代へと移り変わる中で、絵画表現を通じて地域の記憶と風土を継承し、未来への備えとなる芸術作品を創出する。15年間継続してきた活動の蓄積を活かし、新たな世代による東北の美術表現の可能性を探求する。



事業期間中の主なイベント

Event 1

1月下旬か2月上旬

成果報告会と展覧会

成果報告会に合わせて浜通りにて展覧会の開催と、
付帯イベントを実施する。

Event 2

2月頃

山形での報告展

東北芸術工科大学が学外で運営する山形市民のための
レンタルギャラリーTHE LOCALにて成果報告展の実施。

事業全体スケジュール

